



アプリケーション ユーザの設定

[Cisco Unified CallManager の管理] の [アプリケーション ユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウを使用すると、システム管理者は、Cisco Unified CallManager アプリケーション ユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保持することができます。

次のトピックでは、アプリケーション ユーザ情報の管理について説明します。

- [アプリケーション ユーザの検索 \(P.86-2\)](#)
- [アプリケーション ユーザの追加 \(P.86-4\)](#)
- [アプリケーション ユーザの設定値 \(P.86-5\)](#)
- [アプリケーション ユーザのパスワードの変更 \(P.86-9\)](#)
- [アプリケーション ユーザのアプリケーション プロファイルの設定 \(P.86-9\)](#)
- [アプリケーション ユーザとデバイスとの関連付け \(P.86-10\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「アプリケーション ユーザとエンド ユーザ」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「アプリケーション ユーザとエンド ユーザの設定チェックリストの管理」

追加情報

[P.86-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

アプリケーションユーザの検索

ネットワーク内には複数のアプリケーションユーザが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のアプリケーションユーザを見つけることができます。アプリケーションユーザを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、アプリケーションユーザの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、アプリケーションユーザの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [ユーザ管理] > [アプリケーションユーザ] の順に選択します。

[アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、アプリケーションユーザを検索します。

ステップ 2 最初の [検索対象 : アプリケーションユーザ、検索条件 :] ドロップダウンリストボックスから、次の条件を選択します。

- [ユーザ ID]

2番目の [検索対象 : アプリケーションユーザ、検索条件 :] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



ヒント

データベースに登録されているアプリケーションユーザをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたアプリケーションユーザのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID(User ID)]



(注) 該当するアプリケーションユーザの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウから複数のアプリケーションユーザを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのアプリケーションユーザ (デフォルトのアプリケーションユーザを除く) を削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するアプリケーションユーザ名をクリックします。

選択したアプリケーションユーザがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.86-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アプリケーションユーザの追加

ユーザを追加する手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unity Administrator または Cisco Unity Connection Administrator のアプリケーションユーザを追加する場合は、Cisco Unity Administration および Cisco Unity Connection Administration で定義したものと同一ユーザ名とパスワードを使用する必要があります。『Cisco Unified CallManager 5.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0』または『Cisco Unified CallManager 5.0 SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.1』を参照してください。このユーザ ID によって、Cisco Unity または Cisco Unity Connection と Cisco Unified CallManager の管理ページの間の認証が可能になります。

手順

ステップ 1 [ユーザ管理] > [アプリケーションユーザ] の順に選択します。

[アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリストボックスを使用して、アプリケーションユーザを検索します。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 86-1 を参照)。

ステップ 4 ユーザ情報の入力を完了したら、[保存] をクリックし、変更内容を保存してユーザを追加します。

ステップ 5 このアプリケーションユーザのユーザ特権レポートを表示するには、[関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [ユーザ特権レポート] を選択し、[移動] をクリックします。

このアプリケーションユーザの [ユーザ特権 (User Privilege)] ウィンドウが表示されます。ユーザ特権レポートの詳細については、P.89-11 の「ユーザのロール、ユーザグループ、および権限の表示」を参照してください。

このアプリケーションユーザのユーザ特権レポートを表示した後、このアプリケーションユーザの [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[ユーザ特権 (User Privilege)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [アプリケーションユーザに戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

次の手順

このアプリケーションユーザにデバイスを関連付ける場合は、後述の「アプリケーションユーザとデバイスとの関連付け」の手順に進みます。

追加情報

P.86-11 の「関連項目」を参照してください。

アプリケーションユーザの設定値

表 86-1 では、アプリケーションユーザの設定値について説明します。関連する手順については、P.86-11 の「関連項目」を参照してください。

表 86-1 アプリケーションユーザの設定値

フィールド	説明
[アプリケーションユーザ情報 (Application User Information)]	
[ユーザ ID]	アプリケーションユーザの識別名を入力します。Cisco Unified CallManager 5.0 以降のリリースでは、既存のユーザ ID に変更を加えることができます (LDAP サーバとの同期化を使用可能にしている場合)。特殊文字 (ダッシュ (-)、下線 (_)、") およびブラケットを使用できます。
[パスワード (Password)]	アプリケーションユーザパスワードとなる 5 文字以上の英数字または特殊文字を入力します。
[パスワードの確認 (Confirm Password)]	ユーザパスワードをもう一度入力します。
[ダイジェスト信用証明書 (Digest Credentials)]	ダイジェスト認証中に Cisco Unified CallManager が UAS として機能する場合、このフィールドに指定するダイジェスト資格情報が認証確認に使用されます。一連の英数字を入力します。 ダイジェスト認証については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。
[ダイジェスト信用証明書の確認 (Confirm Digest Credentials)]	ダイジェスト資格情報を正しく入力したことを確認するために、このフィールドにその資格情報を入力します。
[プレゼンスグループ (Presence Group)]	このフィールドには、プレゼンス機能を設定します。  (注) このアプリケーションユーザをプレゼンスで使用しない場合は、プレゼンスグループをデフォルト ([None]) 設定のままにします。 ドロップダウンリストボックスから、アプリケーションユーザ用のプレゼンスグループを選択します。選択したグループによって、アプリケーションユーザ (IPMASysUser など) が監視できる対象が指定されます。 インストール時に、標準のプレゼンスグループが設定されます。Cisco Unified CallManager の管理ページで設定されたプレゼンスグループもドロップダウンリストボックスに表示されます。 プレゼンス認可は、プレゼンスグループと連携して、グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックします。グループ間の権限の設定については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。

表 86-1 アプリケーションユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
<p>[プレゼンス登録の許可 (Accept Presence Subscription)]</p>	<p>このフィールドには、プレゼンス認可用のプレゼンス機能を設定します。</p> <p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で、アプリケーションレベルの認可を使用可能にした場合は、Cisco Unified CallManager がアプリケーションレベルの認可を行います。</p> <p>Cisco Unified CallManager がこの SIP トランク アプリケーションユーザからのプレゼンス要求を受け入れることができるようにするには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしたが、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオンにしていない場合は、Cisco Unified CallManager によって、トランクに接続されている SIP ユーザ エージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>
<p>[アウトオブダイアログ REFER の許可 (Accept Out-of-dialog REFER)]</p>	<p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で、アプリケーションレベルの認可を使用可能にした場合は、Cisco Unified CallManager がアプリケーションレベルの認可を行います。</p> <p>Cisco Unified CallManager がこの SIP トランク アプリケーションユーザからの Out-of-Dialog REFER 要求を受け入れることができるようにするには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、SIP で開始される転送機能や他の高度な転送関連機能を使用するには、Cisco Unified CallManager がこのアプリケーションユーザの着信 Out-of-Dialog REFER 要求を受け入れることができるようにする必要があります。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしたが、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオンにしていない場合は、Cisco Unified CallManager によって、トランクに接続されている SIP ユーザ エージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>

表 86-1 アプリケーションユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[未承諾 NOTIFY の許可 (Accept Unsolicited Notification)]	<p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で、アプリケーションレベルの認可を使用可能にした場合は、Cisco Unified CallManager がアプリケーションレベルの認可を行います。</p> <p>Cisco Unified CallManager がこの SIP トランク アプリケーションユーザからの任意通知を受け入れることができるようにするには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、MWI サポートを提供するには、Cisco Unified CallManager がこのアプリケーションユーザの着信任意通知を受け入れることができるようにする必要があります。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしたが、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオンにしていない場合は、Cisco Unified CallManager によって、トランクに接続されている SIP ユーザ エージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>
[REPLACE ヘッダの許可 (Accept Replaces Header)]	<p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で、アプリケーションレベルの認可を使用可能にした場合は、Cisco Unified CallManager がアプリケーションレベルの認可を行います。</p> <p>Cisco Unified CallManager がこの SIP トランク アプリケーションユーザからのメッセージのヘッダー置換を受け入れることができるようにするには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、SIP トランク上の外部コールを、在席転送の場合と同様に、外部のデバイスまたは相手に転送するには、このアプリケーションユーザの REFER および INVITE 内に Replaces ヘッダーを含む SIP 要求を Cisco Unified CallManager が受け入れることができるようにする必要があります。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしたが、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオンにしていない場合は、Cisco Unified CallManager によって、トランクに接続されている SIP ユーザ エージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>

表 86-1 アプリケーションユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[CAPF 情報 (CAPF Information)]	
[割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)]	<p>ユーザのアプリケーション ユーザ CAPF プロファイルを設定した場合は、[割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)] ペインに、アプリケーション ユーザ CAPF プロファイルのインスタンス ID が表示されます。プロファイルを編集するには、インスタンス ID をクリックし、[プロファイルの編集] をクリックします。[アプリケーションユーザ CAPF プロファイルの設定 (Application User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。</p> <p>アプリケーション ユーザ CAPF プロファイルを設定する方法については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
[デバイス情報 (Device Information)]	
[使用可能なデバイス (Available Devices)]	<p>このリスト ボックスには、このアプリケーション ユーザとのアソシエーションに使用できるデバイスが表示されます。</p> <p>デバイスをこのアプリケーション ユーザに関連付けるには、デバイスを選択し、このリスト ボックスの下にある下矢印をクリックします。</p> <p>このアプリケーション ユーザに関連付けるデバイスがこのペインに表示されない場合は、次のボタンのいずれかをクリックして、他のデバイスを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [別の電話を検索] : このアプリケーション ユーザに関連付ける他の電話機を検索する場合は、このボタンをクリックします。電話機を検索するための [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。 • [別のルートポイントを検索] : このアプリケーション ユーザに関連付ける他のルート ポイントを検索する場合は、このボタンをクリックします。CTI ルート ポイントを検索するための [CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。 • [別のパイロットポイントを検索] : このアプリケーション ユーザに関連付ける他のパイロット ポイントを検索する場合は、このボタンをクリックします。パイロット ポイントを検索するための [パイロットポイントの検索と一覧表示 (Find and List Pilot Points)] ウィンドウが表示されます。
[権限情報 (Permissions Information)]	
[グループ (Groups)]	このリスト ボックスは、アプリケーション ユーザが追加された後に表示されます。このリスト ボックスには、アプリケーション ユーザが属するグループが表示されます。
[権限 (Roles)]	このリスト ボックスは、アプリケーション ユーザが追加された後に表示されます。このリスト ボックスには、アプリケーション ユーザに割り当てられているロールが表示されます。

追加情報

P.86-11 の「関連項目」を参照してください。

アプリケーションユーザのパスワードの変更

アプリケーションユーザのパスワードを変更する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.86-2 の「[アプリケーションユーザの検索](#)」の手順を使用して、パスワードを変更するアプリケーションユーザを見つけます。

[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択したアプリケーションユーザの情報が示されます。

ステップ 2 [パスワード (Password)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。

ステップ 3 [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードをもう一度入力します。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

追加情報

P.86-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アプリケーションユーザのアプリケーション プロファイルの設定

新しいアプリケーションユーザの追加後、各アプリケーションのプロファイルを設定できます。各アプリケーションユーザはこれらのプロファイルを使用して、電話機の機能、Cisco Unified CallManager Assistant、Cisco エクステンション モビリティ、Cisco Unified CallManager AutoAttendant、および Cisco IP SoftPhone の機能を個別に設定することができます。

始める前に

アプリケーションユーザがデータベース内で設定されていることを確認します。詳細については、P.86-2 の「[アプリケーションユーザの検索](#)」を参照してください。

追加情報

P.86-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アプリケーションユーザとデバイスとの関連付け

アプリケーションユーザにデバイスを関連付け、アプリケーションユーザがそのデバイスのコントロール権を持つようにすることができます。電話機などの一部のデバイスは、アプリケーションユーザが制御できます。CTIポートなどのその他のデバイスは、ユーザとして指定されるアプリケーションによって制御できます。アプリケーションユーザが電話機のコントロール権を持つ場合、その電話機の特定の設定値（たとえば、短縮ダイヤルや自動転送）を制御できます。

始める前に

アプリケーションユーザにデバイスを割り当てるには、そのユーザの [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウにアクセスする必要があります。既存のアプリケーションユーザを見つける方法については、[P.86-2](#) の「[アプリケーションユーザの検索](#)」を参照してください。[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示された後で、デバイスを割り当てる手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [使用可能なデバイス (Available Devices)] リスト ボックスで、アプリケーションユーザに関連付けるデバイスを選択し、リストボックスの下にある下矢印をクリックします。
- ステップ 2** 使用可能なデバイスのリストを制限するには、[別の電話を検索] ボタン、[別のルートポイントを検索] ボタン、または [別のパイロットポイントを検索] ボタンをクリックします。
- [別の電話を検索] ボタンをクリックすると、[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。検索を行って、このアプリケーションユーザに関連付ける電話機を見つけます。
 - [別のルートポイントを検索] ボタンをクリックすると、[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。検索を行って、このアプリケーションユーザに関連付ける CTI ルートポイントを見つけます。
 - [別のパイロットポイントを検索] ボタンをクリックすると、[パイロットポイントの検索と一覧表示 (Find and List Pilot Points)] ウィンドウが表示されます。検索を行って、このアプリケーションユーザに関連付けるパイロットポイントを見つけます。
- ステップ 3** アプリケーションユーザに割り当てるデバイスごとに、前述のステップを繰り返します。
- ステップ 4** 割り当てを完了したら、[保存] をクリックして、アプリケーションユーザにデバイスを割り当てます。
-

追加情報

[P.86-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [アプリケーションユーザの検索 \(P.86-2\)](#)
- [アプリケーションユーザの追加 \(P.86-4\)](#)
- [アプリケーションユーザの設定値 \(P.86-5\)](#)
- [アプリケーションユーザのパスワードの変更 \(P.86-9\)](#)
- [アプリケーションユーザのアプリケーションプロファイルの設定 \(P.86-9\)](#)
- [アプリケーションユーザとデバイスとの関連付け \(P.86-10\)](#)
- [ユーザのロール、ユーザグループ、および権限の表示 \(P.89-11\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「デバイスの関連付け」
- 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「アプリケーションユーザとエンドユーザ」
- 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「アプリケーションユーザとエンドユーザの設定チェックリストの管理」
- 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unity メッセージングの統合」
- [LDAP システムの設定 \(P.12-1\)](#)
- [電話番号の設定 \(P.48-1\)](#)
- [CTI ルートポイントの設定 \(P.67-1\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone の設定 \(P.70-1\)](#)
- [ロールの設定 \(P.88-1\)](#)
- [ユーザグループの設定 \(P.89-1\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」
- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」
- 『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』

■ 関連項目